



## 脱炭素社会の推進

**新** 自家消費型太陽光発電  
利用促進補助事業  
【予算額】 500 万円

市内事業者が、自家消費用に設置する太陽光発電設備に対して補助金を交付します。

**新** メガソーラー発電所の  
設置  
【予算額】 ゼロ予算

市内2カ所目となるメガソーラー発電所が、クリーンセンター館野において9月から稼働します。

**新** MONO<sup>2</sup> (モノモノ)  
リユース事業  
【予算額】 24 万円

ごみの減量化、再利用化につなげるため、新たに不用品のフリーマーケットや学用品のリユース会を開催します。



## その他の主要事業



**新** 保育士等修学資金貸付事業  
【予算額】 601 万円

市内で保育士を目指す学生に対して、一定の要件のもとで返還が免除になる修学資金の貸し付けを行います(19ページ参照)。

**新** 医療用補正具  
購入費助成事業  
【予算額】 272 万円

がん患者の経済的・精神的な負担軽減を図るため、胸部補正下着やウィッグなどの購入費用を補助します。

**新** 高齢者の権利擁護  
アドバイザー事業  
【予算額】 27 万円

県弁護士会と地域包括支援センターとの連携により、高齢者の権利を守る体制の構築を図ります。

**新** 燕青空即売会  
ツアー造成支援事業  
【予算額】 100 万円

燕青空即売会をコースに組み込んだ募集型バスツアーにかかる経費の一部を補助します。

**新** ヤングケアラー  
サポート事業  
【予算額】 14 万円

ヤングケアラーへの支援方法の検討や、支援に関する周知・啓発を行い、理解促進を図ります。

**拡** つばめ <sup>ジョブ</sup> JOB サポート事業  
【予算額】 829 万円

多様な人材が活躍できるよう、新たに市内企業の職場環境改善への支援や人材マッチングを促進します。



**新** 燕ソウルフード観光  
プロモーション事業  
【予算額】 300 万円

文化庁の「未来の100年フード」に認定された背脂ラーメンを観光資源としたキャンペーンを実施します。



## 「地域社会のDX」と「脱炭素社会の推進」

感染症拡大を契機とした社会全体のデジタル化、オンライン化の進展に対応するための「地域社会のDX」を進めるとともに、地球温暖化対策につながる「脱炭素社会の推進」に取り組み、次の100年に引き継いでいきます。



## 市民サービスのDX

**新** 市民窓口の  
キャッシュレス化  
【予算額】 260 万円

市民課と税務課の窓口キャッシュレス決済端末機を導入し、市民の利便性向上を図ります。

◆導入時期：令和5年6月予定

**新** 電子契約システムの導入  
【予算額】 71 万円

現在紙で行っている契約業務をオンライン化することで、契約相手方の利便性向上と事務処理の効率化・コスト削減を図ります。

◆導入時期：令和5年10月から順次

**新** きららん号予約  
システム更改事業  
【予算額】 738 万円

デマンド交通の受付体制に24時間受付できるWeb予約を導入し、電話受付の混雑を緩和しながら利便性を向上させます。

◆導入時期：令和5年11月予定

**新** 登降園状況  
確認アプリ導入事業  
【R4 繰越予算額】 1,542 万円

二次元コードによる登降園の登録やアプリからの遅刻・欠席連絡が可能なシステムを導入し、保護者の利便性向上と保育士の業務負担軽減を図ります。

## 地場産業DX

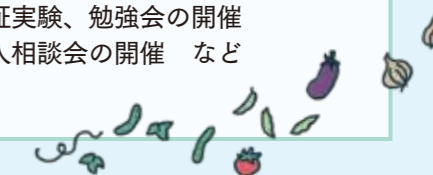
**拡** 中小企業DX推進支援事業  
【予算額】 2,033 万円

IoT・AI・センシング、クラウドサービス等を活用した業務の自動化・効率化など、市内中小企業のDXを支援し、生産性向上や競争力強化を図ります。

**拡** 先進技術活用推進事業  
【予算額】 71 万円

ドローンやICTをはじめとした先進技術の活用による農作業の効率化・省力化を推進します。

- ・実証実験、勉強会の開催
- ・導入相談会の開催 など



## 行政運営のDX

**拡** DX推進体制の強化  
【予算額】 2,195 万円

「燕市DX推進計画」に基づき、全庁横断的なプロジェクトチームを立ち上げるとともに、専門の外部人材を増員するなど、DX推進体制の強化を図ります。

**新** 介護保険認定調査  
モバイル導入事業  
【予算額】 115 万円

介護保険の認定調査においてタブレット型のデバイスを導入し、介護認定の迅速化を図ります。

**新** 在宅医療・介護連携  
アプリ導入事業  
【予算額】 1,697 万円

燕・弥彦圏域の医療機関や介護事業所などが、患者の受療状況や服薬情報等を共有できるツールの導入とICT導入に伴う人員の増員を支援します。

**新** 自治会コミュニティ  
運営応援事業  
【予算額】 78 万円

デジタルを活用した自治会業務の負担軽減を目指し、その取り組みの第一歩として、LINE活用セミナーなどを開催します。

## DX人材育成

**新** STEAM教育推進  
モデル事業  
【予算額】 250 万円

※4ページ参照



**拡** つばくろロボキッズ教室  
【予算額】 83 万円

プログラミング的思考を働かせながら、自律動作型ロボットを操作する活動を通して、プログラミングに対する興味・関心や学び続ける意欲を高めます。